

長岡紫

## 夏と summer

色が違う

響きが違う

香りも違う

幼かった頃 蚊帳の中で味わった夏

蚊取り線香の神秘的な香りが好きだった

大人になって体験した サンタフェの summer

溢れる光が痛いほど身体に響いてきた

サマーがカラリと

夏がじつとりと

皮膚に降りてくる

なぜだろう

夏が終わる頃

仕残した宿題のような

まだ知らない暑さが恋しくなる

「なつ」にしか宿らない

「サマー」には託せなかった夢を

心の宝箱にそっとしまつて

秋を待つ